

お知らせ

○次回活動日のご案内；2月12日（月・休日）第一駐車場9時40分集合。主な活動メニュー：きのこ植菌。携行品：ハンマー（コマ打ち用、木槌又は金槌）、お椀。

今年のキノコ植菌計画；シイタケ約3,000駒、ナメコ約1,000駒、菌入手可能な場合はキクラゲも試行しますが、入手困難な模様です。植菌は2月12日（月）、植菌作業が終了しない場合は臨時活動日を計画します。

○里山活動発表会；3月10日土曜日別紙要領で里山センター主催の里山活動発表会が開催されます。開催要領は3頁添付の通り。「千年の森」も森の整備を主なテーマに20分程度の発表を予定しています。参加申込は一括して行いますので、上記の事務局アドレス宛2月12日までに連絡下さい。

活動の記録

1月21日（日）曇

参加会員16名ほか小平顧問。

新年の活動初めは安全委員長の掛け声で、KYT「今年もゼロ災害で行こう、ヨシ！！」でスタート。先ず全員ではこら山の祠に手を合わせ安全祈願。心配された雨にも雪にも遭わず、順調にシイタケホダ場の調査と防獣ネットかけ、11月・12月伐木の玉切り、枝整理、きのこ植菌準備など予定の作業を終え、広場の休憩用丸いすつくりやカブトムシのマット用落葉集めなど番外作業も楽しみました。



祠に合掌して仕事初め

○シイタケホダ場調査（竹林脇05年植菌、食害調査）；昨年秋から栽培キノコ班の収量調査時、竹林脇のホダ場では、いつも小さなシイタケが多数確認されながら、次回調査時には全く消失し、どうして無くなるのか不思議でした。今月に入りホダ木の隙間など狭いところを除き食べ跡があり、ホダ木の皮もかじられていることなどから、動物の食害を疑い、今回調査を行いました。（以上久我記）

今回調査の結果、マダケ林横のホダ場では、シイタケが多数発生しているものの傘が開いているものはほとんど見られず、すべて小さいうちに取られている様子でした。食べたのはニホンザルの可能性が高いと思われますが、加害獣を確認するためにセンサーカメラを設置しました。（以上福島記）



食害調査



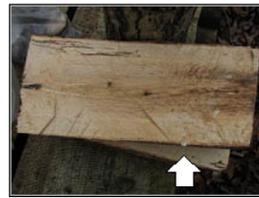
ホダ木表側はスッカリ食べ尽くされ



魚網転用の獣害ネット

○シイタケホダ場獣害防止ネットかけ；マダケ林に隣接しているシイタケのホダ木に害獣ネットを設置しました。当初は広場横のホダ場に日除けを設置する予定でしたが、小平顧問の「気長に、もう少し様子を見てはどうか」とのアドバイスにしたがい日除け作業は延期。食害の多いマダケ林横のホダ木をネットで囲うことにしました。食害はサルの可能性が高いようなので天井からの襲撃に備え全面を覆いました。ネットはマダケ林の竹の子保護に使用したものを転用。魚網から転身した害獣ネットが大活躍です。（長村記）

○シイタケホダ場調査（広場横04年植菌、菌糸調査）；04年植えホダ木については期待されていたシイタケの発生が全く見られず。そこで、シイタケ菌の状況を確認しようとホダ木1本をチェーンソーで縦横に切ってみました（写真、矢印は種駒）。すると、樹皮の内側は菌糸で覆われているものの材の内部へはあまり入っていないような感じです。やはり、小平顧問ご意見のようにもう少し気長に待った方が良いのかもしれません。見ただけでは菌糸の状況がよく分からなかったもので、割った原木は久我さんが持ち帰りしばらく観察してみることになりました。（福島記）



縦割り



輪切り

○玉切り、枝整理；キノコホダ木用に90センチに玉切り。90センチのメジャー係り、チェーンソー係り、運搬・枝整理の呼吸がピッタリ合い、チェーンソー4機が快音を発し、快調に作業は進みました。午前中は12月伐採のマダケ林、午後は11月研修伐採の巨木林を瞬く間に完了しました。出来たホダ木は220本余、主にコナラ。径の太いカシ類は40～45センチに玉切り、昼食用の高級？丸太腰掛が沢山出来あがり、広場のテーブル上に乾燥のため並べました。（真鍋記）



玉切りも安全第一教本通り



カシ材の高級椅子は重い！



カブトムシマット第1号

○カブトムシ幼虫用落葉集め；カブトムシの幼虫がゴロゴロと出てきた昨年のことが忘れられずに落葉を積みました。産み付けられた卵が暖かく栄養タップリな腐葉土の中でどんどん成長する様子を想像するだけでも楽しみです。次回にはもう一箇所堆積場を作りたいと思います。今年はこの幼虫の活用方法も考えましょう。（村野記）

○栽培きのこ収量；04年植シイタケはゼロ、05年植えは獣害で生き残りは僅か300グラム、ナメコ200グラムと僅かな収穫でした。獣害対策ネットの効果と04年シイタケの復活を気長に期待したいところです。（久我記）